

コース番号 6M016

幾何公差の解釈と測定技術

～幾何公差の「正しい解釈」と「無駄のない測定」をマスターする。～

本セミナーは、ものづくりにおける測定作業の最適化と生産性の向上をめざし、設計図面に指示された幾何公差の正しい解釈から、それらを実現するための具体的な測定技術までを実習を通して体系的に習得するコースです。

現代の製造現場において、製品の高精度化や国際化に対応するためには、従来のサイズ公差だけでなく「幾何公差」の活用が不可欠となっています。本講座では、単に図面の記号や測定器の使い方を学ぶだけにとどまらず、測定手法と機械加工との密接な関わりを明らかにすることで、より実践的な技能・技術の習得を目指します。

幾何公差は、設計・製造・検査の各部門をつなぐ「共通言語」です。そのため、本訓練は検査担当の方だけでなく、設計者や生産現場の方にとっても極めて有意義な内容となっています。

開催日時	11月26日(木)～27日(金) [2日間] 各日 9:00～16:00				
定員	10名	受講料	13,500円	開催場所	ポリテクカレッジ川内
カリキュラム	1. 幾何公差の図示と解釈 (1) 主な幾何公差の意味と幾何公差域 (2) 幾何公差の図面指示の留意点 (3) データむの考え方と図面指示の原則 (4) 主要な幾何公差の解釈 イ. 形状公差(真直度・平面度・真円度・円筒度) ロ. 姿勢公差(平行度・垂直度・傾斜度) ハ. 位置公差(位置度・同軸度・対称度) ニ. 振れ公差(円周振れ・全振れ) 2. 加工・測定と幾何公差との関わり (1) データムの設定と加工誤差の関連 (2) 幾何公差域の解釈と加工誤差 (3) 加工方法による幾何偏差への影響 (4) 幾何公差の図面指示と測定誤差 3. 主要な幾何偏差の測定技術とその実習 (1) 真直度の測定技術 (2) 真円度測定技術 (3) 定盤基準による真直度・平面度・直角度の測定技術 4. まとめ				
持参品	筆記用具				
講習環境など	  				

【お問い合わせ】

ポリテクカレッジ川内(川内職業能力開発短期大学校)

〒895-0211 鹿児島県薩摩川内市高城町 2526

TEL: 0996-22-1558(学務援助課) FAX: 0996-22-6612